

いお たお 労 福 協

大分県労働者福祉協議会
機関紙 第82号

大分市中央町4-2-5
ソレイユ 6F
☎(097)533-1106
発行人 嶋崎 龍生
2008. 9. 1発行

大分県 労福協

年間主要日程 新たな気持ちで取り組みます！

大分県労働者福祉協議会 (大分県労福協) は、6月30日(月)第23回定期総会で決定された、08年度活動方針に基づいて、具体的取り組みの展開や当面する日程について、8月7日開催の「第1回三役会議」協議し、8月27日開催の「第2回幹事会」でその内容を確認しました。

以下、年間主要計画についての行事予定を紹介します。

なお、具体的取り組みにあたっては、連合大分・各事業団体・会員各位のご協力をお願い致します。

★3～8面

全労済大分県本部・大分県総合生協・大分県勤労農民共済会・大分県生協連合会・大分県勤労者医療生協・九州労働金庫大分県本部(各一面)

詳細は、各事業団体の編集委員による編集会議で検討し、適宜・適切なニュース伝達など、内容の工夫・充実を図ります。



II 09年度大分県当初予算 に関する要請および 労働者福祉意見交換会

対県要請については、連合大分や事業団体との調整を図る中で、労働者福祉の拡充に向けた県行政としての改善に絞り込んで要請を行

I 機関紙 「いおいた労福協」の発行

発行は6回/年 奇数月の
初旬(原則1日)発行
● 機関紙の構成
★ 1～2面
県労福協・地区労福協

います。
要請および労働者福祉意見交換会の実施日は10月29日です。
対応は県労福協三役が行ないます。

III 大分県労福協福祉研修会

開催時期は、中央労福協の福祉キャンペーン(9～11月)に合わせて行います。研修内容は、講演形式とし、講師は幅広い分野から検討します。

● 開催日時：08年11月10日(月) 13時30分
● 場所：全労済ソレイユ7F
● 参加要請：加盟組織の役員(100名規模)

IV 第12回役員親善交流 チャリティゴルフ大会

構成会員の親睦を兼ねてチャリティゴルフとして開催し、参加者によるカンパを福祉団体へ寄付します。



● 開催日時：08年10月18日(土)

【構成会員団体】

分組 庫済協連協会館協連
単 生 生 会 福
大・金 生 協 療 済 会 福
別 勞 医 共 社
要 産 働 合 生 者 福 勞 退
合 産 働 合 生 者 福 勞 退
要 勞 民 働 区
連 主 勞 全 總 県 勤 勞 地 高

IV 第37回スポーツ (ボーリング)大会

● 全会員を対象とする「県労福協スポーツ大会」を今年度も「ボーリング大会」として開催します。

● 開催日時：09年3月22日(日) 13時～
● 場所：明野OBSボウル
● 参加要請：加盟組織および地区労福協の代表者108名(36チーム：3名×36R)



VI 文化活動 「第52回大分県 勤労者創作美術展」

● 勤労者の文化活動の輪をひろげ、余暇生活をより豊かな、充実したものとするために、大分県・大分県労政協会・大分県労福協の共催で行います。

● 申込期間：09年1月13日(火)～2月13日(金)
● 出品申込書に記入の上、最寄の振興局か大分県商工労働部労政福祉課(作品搬入は別途)

● 開催期間：09年3月4日(水)～3月8日(日)
● 場所：大分県立芸術会館
● 部門：絵画、書道、写真、彫刻、工芸、デザイン、イラスト

● 審査員による作品指導：09年3月8日(日) 12時30分～13時50分
● 芸術会館展示会場



竹田・白津地区定期総会開催

先般、第16回竹田地区労福協定期総会（2008年7月1日）及び第14回白津地区労福協定期総会（2008年7月16日）が夫々開催されました。



竹田地区労福協定期総会模様

来賓に、竹田労金高橋支店長、全労済佐伯富松店長を迎え、副田会長が「未組織労働者の組織拡大に力を注ぎたい」と挨拶。順調に議事がすすみ、2008年度の活動方針では、①自治体要請行動で、労福協事業の補助金の継続に

取り組む。②労金運動や全労済・総合生協運動のきめ細かい推進活動を展開する、などの方針が決定されました。



白津地区労福協定期総会模様

冒頭、薬師寺会長から、労働者福祉活動の重要性を強調した挨拶があり、その後、足立参議、久原県議より来賓挨拶がありました。活動方針の中では、①未組織労働者を含めたすべての労働者に対し、労働者福祉運動への参加呼びかけを行う。②白津にはない事業団体（医療生協）につい

ての学習会を実施する、などの議論を行い新方針が決定しました。

なお、大分県労福協の諸富事務局長は、夫々の定期総会の挨拶で、「多重債務、生活保護など、貧困を苦に自殺者が増大していることは放置できない。大分地区ライフサポートセンター（何でも相談事業）を幅広く活用してもらえ、る教宣活動を行って欲しい」と訴えました。

労福協クイズ 39

簡単な設問ですので奮ってご応募ください。

- ①現在、県内の各地区で全労済・総合生協グループがおこなっている相談会の名称はなんですか？
 ①暮らしのなんでも相談会 ②暮らしのあれこれ相談会
 ③暮らしのまるごと相談会
- ②全労済の主力共済であるこくみん共済の基本タイプは、いくつありますか？
 ①5タイプ ②7タイプ ③9タイプ
- ③九州ろうきん大分県本部のブロック別推進研修会の県統一テーマは？

応募方法

・ハガキに、①、②、③それぞれの答えを書き、住所、氏名、職場名を明記の上送付して下さい。
 ・締め切り2008年9月30日消印有効。
 ・正解者の中から抽選により、10名の方に図書券をお送りします。
 当選者発表は、機関紙83号

あて先

〒870-0035 大分市中央町4丁目2番5号
 大分県労働福祉会館(ソレイユ)2F
 大分県労働者福祉協議会編集委員会宛

◎この機関紙へのご意見ご感想などお寄せ下さい。

読者からの声

毎号多くの読者の皆さんからご意見ご感想をいただいています。ご紹介いたします。今後とも多くの読者の声をお聞かせ下さい。楽しみにお待ちしております。 編集部

●保健・医療に携わる仕事をしていますが国の打ちだす制度や言動に腹がたつてなりません。ジレンマにも陥る今日このごろです。 国東市（女性）

●労福協クイズ38号の答えを

考えていて、改めて肝臓の大切さを思い知らされました。これからは好きなお酒をほどほどにしたいと思えます。 別府市（男性）

●農業関係の職場です。よろしく願います。原油高騰で大変な事になっていきます。WHO交渉も悪い合意になりました。今こそ、自民党に反対の意見を衆議院選挙に勝利を。 大分市（男性）

この他にもご意見ご感想をいただいておりますが、紙面の都合で割愛させていただきます

第38回(機関紙81号)クイズの答え

- ① 小久保裕紀
- ② 肝臓

機関紙81号の第38回クイズに多数の応募をいただきありがとうございます。厳正な抽選の結果、次の10名の方が当選されました。また貴重なご意見ご感想ありがとうございました。

- 敬称略
- 菅 智佳子(日出町) 松尾 秀幸(大分市)
 - 岡部 純子(国東市) 伊藤 典子(国東市)
 - 古屋慎一郎(別府市) 金田 雅史(国東市)
 - 都留 俊明(日出町) 佐藤 良子(大分市)
 - 村山美津子(別府市) 大津 恵子(佐伯市)

2008年度
大分県総合生協
通常総代会開催

大分県総合生協は7月31日(木)ソレイユにおいて、2008年度通常総代会を開催いたしました。

総代数205名中、出席総代121名 委任出席者81名、計202名により2008年度総合生協通常総代会が成立。

議長団には佐藤守洋議長(JR九州労組大分地方本部)、伊藤和海議長(ヨロズ大分労組)が就任。各議案については昨年度の事業報告をはじめ今年度の事業計画など、異議なく満場一致で承認され総代会を終了いたしました。2008年度の役員体制は次の通りです。

2008年度 役員一覧	理事長	羽明 省三 (全労連)
	副理事長	嶋崎 龍生 (全労連)
	専務理事	川辺 修 (全労連)
	理事	佐藤 寛人 (連合大分)
		村田 正利 (自教組)
		森 政文 (自教組)
		横道 信哉 (自教組)
		羽田 周二 (U-19セブン同連)
		高橋 和善 (電機連)
		開田 恵三 (星野労連)
		広瀬 文明 (JLP労組)
		安東 伸彦 (サービス流通連)

2008年度 役員一覧	理事長	亀井 弟二 (自教連)
	副理事長	工藤 健一 (化学総連)
	専務理事	朝来 素生 (全労連)
	理事	竹下 正行 (私鉄総連)
		棕野 美智子 (全労連)
		馬見塚 剛 (西大分地区推選委員会)
		野畑 由紀夫 (東大分地区推選委員会)
		矢須 田 士 (別所地区推選委員会)
		長田 德行 (三津地区推選委員会)
		安東 大暁 (豊後地区推選委員会)
		久恒 薫 (尾北地区推選委員会)
		後藤 幸紀 (大地区推選委員会)
		上田 徹 (佐伯地区推選委員会)



監事	阿部 泰宏 (中央推選会)
後藤 幸紀	幹夫 (労福協)

みんなて応援しよう！ 総合生協の日帰りバスツアー

福岡ヤフドーム 野球観戦ツアー

9月23日(火) 旅行代金 **10,500円**

元祖ドーム弁当+お茶付 (大人、子供同額)

旅行出発日 スケジュール

佐伯(7:00) = 大分(8:30) = 別府(8:50) = (高速道路・都市高速) = 福岡Yahoo!JAPANドーム(11:30)
 ※13:00試合開始までごゆっくりお過ごし下さい(元祖ドーム弁当+お茶付)
 福岡Yahoo!JAPANドーム = (都市高速・高速道路) = 別府(19:00頃) = 大分(19:30頃) = 佐伯(20:50頃)

■出発地 佐伯・大分・別府 各地出発(添乗員同行)
 ■募集人員 40名(最少催行人員30名)
 ■集合場所等を明記した最終行程表を出発前にお渡しいたします。詳しくは係員にお尋ね下さい。

お申し込み 本ツアーは観戦チケットの都合上、取り消し、人員の減員は取消料がかかりますので、ご注意ください。
 15日前:無料 14~6日前:20% 5~2日前:30% 前日:40% 当日(出発前):50% 出発後:100%

詳しくは、総合生協旅行センターへお問い合わせください。☎097-548-5515
 FAX097-538-2456 旅行企画実施:大分県知事登録旅行業第2-40 総合旅行業務取扱管理者/十時照美

グリーンウッドかたしま台

確かな品質と安心の住み心地。くらしの夢が広がる新しい住まいをぜひご覧ください!

総合生協の家

好評販売中

人と自然がよりそう街
グリーンウッドかたしま台

区画NO. 1-8-2
4LDK(木造軸組工法)

モダンな外観が特徴的な
家族の笑顔と光にあふれた
広いリビングの家。

見どころポイント

- オール電化(エコキュート)で安全・安心。省エネ。
- 大きな吹抜けのあるLDで開放的。
- モダンな外観スタイル。
- 広いウォークインクローゼット。
- うれしい書斎コーナー。
- 使いやすく明るいカウンターキッチン。

この立地でこの価格!!

販売価格 **3,158.1万円** (土地・建物・外溝・消費税込み)

※諸経費は別途申し受けます。※平面図及び完成予想図はグリーンウッドかたしま台販売センターへお問い合わせください。
 ☎0120-557-887 ☎097-567-2300 (水曜日定休)

オール電化 エコキュート フルオート370ℓ 全室照明付

二〇〇八年度 第二回評議員会開催

県民共済会は、二〇〇八年七月三十日、全労済ソレイユにて二〇〇八年度第一回評議員会を開催いたしました。評議員定数二十四名に対し、出席評議員二十名(委任含む)により、評議員会の成立が宣言され、議長に佐藤評議員を、議事録署名人に長田・河津両評議員を選出いたしました。

その後、議案審議に入り、**①二〇〇七年度事業報告**
②共済契約の全労済移行に関する検討経過
③二〇〇七年度決算報告ならびに監査報告
④二〇〇八年度事業計画(案)
⑤二〇〇八年度事業予算(案)
⑥役員(理事・監事)変更
⑦その他

の全ての議案に対し満場一致で、承認をいただきました。

二〇〇七年度決算概況

① 共済事業収入
共済事業の受入掛金合計は九億八、四七四万円となり、前年度と比べて三、八四七万円の増加となりました。
② 共済事業支出
共済事業支出の総額は七億

九、四四一万円となりました。これは前年と比較し九二二万円の減少となりました。

③ 管理費
管理費は、一億二、七六三万円となり前年と比較し一、七七五万円の減少となりました。

④ 有価証券の売却
前年まで保有していた有価証券(二億六、四三三万円)について、共済契約の今後の方向性を見据え、全て売却し、新たに短期国債等(十九億九、六〇九万円)を購入しました。その結果、売却益三、九二〇万円、売却損七五一万円を経常しました。

⑤ 経常外支出
財団で保有している「土地」についてこれまで購入額を帳簿価額として適用していました。しかし、今後の方向性を見据え、不動産鑑定評価を行い、適正な評価額に是正しました。その結果、六、〇八八万円の評価損を経常しました。

⑥ 正味財産増減額
一般正味財産は、経常収入合計一〇億五、〇九八万円から経常支出九億八、九九三万円と経常外支出六、〇八八万円を差引き、当期一般正味財産増減額は一七万

円となりました。また、指定正味財産は、増減額がなく、前期繰越指定正味財産額と前期繰越指定正味財産額を加え、当期正味財産額の総額は六億四、八七七円となりました。

二〇〇八年度 理事・監事



Table listing board members: 理事長 龜山 哲, 副理事長 嶋崎 龍生, 理事 米田 正規, 田中 博文, 首藤 浩二, 橋本 敏雄, 朝来 素生, 古城 真代, 広瀬 文明, 阿部 巖, 諸富 幹夫, 棚村 和秀, 西田 収, 宇野 穂, 甲斐 秀樹, 後藤 俊一

正味財産増減計算書 (2007年6月1日~2008年5月31日)

Table showing financial statements for 2007 and 2008, including categories like 一般正味財産増減の部, 経常増減の部, 経常外増減の部, and 指定正味財産増減の部.

貸借対照表 (2008年5月31日現在)

Table showing balance sheet for 2007 and 2008, including categories like 資産の部 (流動資産, 固定資産) and 負債の部 (流動負債, 固定負債).

第17回 親子で考える平和のこころ

戦争の悲惨さを後世に おおいたの戦争遺跡から学ぼう



県生協連では、8月2日(土)に「第17回親子で考える平和のこころ」を、県内12生協より組合員やその家族230人が参加して行われました。

この「親子で考える平和のこころ」は、今までの平和行進や集会を昨年からの戦争の悲惨さを後世につなぐために、身近にある戦争遺跡を子どもたちと一緒に自分の目で見て、「二度と戦争はしない」という気持ちを再確認するバスで訪ねる大分県の戦争遺跡めぐりを行いました。が、本年度は訪れる遺跡を変え、さらには中津・宇佐、佐伯からも新たに参加してもらいました。

この戦争遺跡めぐりは、佐伯・臼杵、大分・別府地区から中津市の八面山平和公園、宇佐市の宇佐海軍航空隊跡地、日出町の大神天神社を回り、中津市の八面山平和公園では、林一也宇佐市教育委員会文化係長が米軍のB29と日本軍の戦闘機の空中戦の様子を話されました。通常は開館していない記念館を特別に開館いただき、日米の若い兵士の写真やB29の破片、B29に体当たりして亡くなった村田勉曹長の「笑って大空二散ル……」との遺書も展示されています。

その後、林係長の案内で宇佐市の宇佐海軍航空隊跡地へ、この航空隊は鹿児島県鹿島基地に司令部が置かれ、宇佐は後方基地となり、1941年2月18日には飛行学生などの搭乗員に対して特別攻撃訓練の「特攻」作戦が開始され、4月2日の第一陣以来八次にわたる出撃で14名の尊い命が失われ、宇佐は「特攻」の後方基地となると、幾度となく米軍による空襲を受け、周辺の村も焼かれたために、航空隊の兵士だけでなく多くの住民も戦死しました。跡地は戦時中の空襲や戦後処理でほとんど消滅しましたが、落卜傘整備所、爆弾池、連光寺の生き残り門、防空壕跡、滑走路跡、掩体壕跡等が今も残されています。さらに、豊後高田市の昭和の町で昼食後、散策して、日出町の大神天神社へとまわりました。現地では魚住修三さんがガイドをいただきました。

1941年に大神の海に面した広大な土地を海軍工廠用地として強制買い上げをしたが建設されず、回天の訓練基地に転用されました。大神基地は海岸部から発射するための基地で、基地の建設作業には杵築中学の動員学徒、朝鮮人も多数使役され、1945年3月から大神突撃隊司令山田盛重大佐以下2000名が到着し、訓練された搭乗員の一部は再配置しましたが、出撃することなく8月15日敗戦を迎え解散しました。

敗戦直後基地には16基が残存していましたが解体されたものと、日出沖の海中に投棄されたものもあり、その1基が引き上げられたものが残っています。「回天」は死の人間魚雷ですと話されました。

本年度は、昨年は見なかった回天魚雷の訓練に使ったプールや回天魚雷を格納していた壕も見学しました。

また、本年は俳人九条会の田口さんが参加しましたので、遺跡めぐりをした感想を俳句に思いをこめたものを大分・別府から参加した方に募集したところ22名の方から応募いただきました。

一方、日田・中津・宇佐地区からは佐伯市の佐伯平和祈念館、丹賀砲台園地(海軍要塞跡)、鶴見崎自然公園・鶴見崎灯台(鶴見崎防備衛所跡)を回りました。

佐伯市は、1943年に海軍佐伯航空隊が開隊し軍部として豊後水道一帯の防衛の任にあたることになり、太平洋戦争の発端となった真珠湾攻撃を前にして、佐伯湾に連合艦隊の機動部隊が集結して、模擬演習が行われたこともあり、佐伯市もたびたびの激しい空襲を受けて多くの市民が犠牲となりました。

祈念館では館長はじめ職員が、展示されている①佐伯と海軍航空隊、②佐伯海軍航空隊の記録、③戦争と佐伯の人々、④戦後世界の半世紀、⑤平和を考えているコーナーを回り、遺品や実物資料、回顧録を目にしたとき、当時の戦争の恐ろしさ、悲惨さを詳しく説明されたことが印象に残りました。帰る際に、日田市民生協から参加された子どもさんから館長に平和を祈って千羽鶴が送られました。

引き続き、鶴見崎自然公園・鶴見崎灯台(鶴見崎防備衛所跡)に向い、丹賀砲台の代替施設として3月着工、9月完成の突貫工事で完成され、1945年8月の終戦に砲身などは海中に投棄された。それぞれ45口径15センチのカノン砲の4つの砲座跡を見学する予定でしたが崖崩れがあり見学できず、灯台を見学しました。

その後、丹賀砲台園地海軍要塞跡)に向いました。丹賀砲台は、豊予要塞の一翼として1924年1月に起工、1929年1月に完成しました。この砲台には一次大戦後の海軍縮小条約のために廃艦となった巡洋艦「伊吹」から45口径30センチのカノン砲連装2門を転用し、装甲した射撃室だけを丘陵の上に置き、砲塔の下部施設と弾薬庫や機械室その他の大規模な作業空間は、海岸レベルまでの地下に埋設してありました。

射撃距離は3000メートル、首線方向SE60度、射界210度で、豊後水道の中央部海域を対岸の由良崎近くまでカバーできるはずでしたが、1941年12月8日に太平洋戦争が始まり、砲台も少数要員による装備維持だけの体制で、1942年1月11日、実弾射撃を試みた最後の一発が右砲身内で暴発し、隊長以下16名が死亡、40名が負傷するという大事故となり、役割を果たすことはできませんでした。

夏期実習に協力!



その中で、今年も夏休み前に植田東中学校の2年生の男子2名と女子4名が3日間、「キャリア・スタート・ウィーク」で病院内のリハビリや給食、病棟、外来部門と訪看やヘルパー同行などで体験実習を行いました。

「キャリア・スタート・ウィーク」の取り組みは、職場体験を通じて子どもたちに勤労や職業と自分の人生とを関連づけて考える機会を持つてもらうという取り組みです。指導に当たる先生方は、子どもたちが希望する職業や職場への依頼や日程調整などにも苦労している様子でした。

医療職場は衛生面や感染対策など気をつけることも多くて希望通りにいかないこともありますが、今後も地域の子どもたちを地域の企業や職場と一緒に育てていくという立場で協力していきたいものです。

夏期には専門学校や短大などから研修や体験実習の要請があります。期間は2〜3日から2週間程度とさまざまです。また、受け入れる職場の都合もあって一度に大勢は困難なので、やり繰りに苦労しますが、私たちの職場で研修・体験したことが将来の進路などに少しでも役に立つのであればということを引き受けています。

介護報酬改定に向けて

06年4月の介護保険報酬改定以後、介護の現場や利用者の方等からさまざまな不安と怒りの声が上がりましたが、早くも来年4月には3度目の報酬改定が行われることになっていて、すでにいくつかのテーマを巡っては、厚労省の社会保障審議会の部会や検討会で議論が進められています。

前回の改定では、①新予防給付、地域支援事業の創設。②施設給付に居住費・食費負担の導入。③地域包括支援センターと地域密着型サービスの創設などが盛り込まれましたが、つまるところ財政論に基づく利用制限と利用者への負担増を求めるものでしかなく、介護保険制度の理念や根幹を揺るがすほどの大きな影響をもたらしました。

介護保険が始まって8年、いまなお必要介護高齢者は、その介護度に応じた利用限度額の半分程度しか介護保障サービスを利用していない実態も明らかとなっています。そもそも限度額とは、在宅生活を維持するためのサービスの水準を表したものです。利用しないのではなく利用が制限されている実態があります。

来年度の改定では、利用者や現場の声に目を背けることなく行われなければ、利用者の理解も介護労働者の確保もままならなくなり、制度の崩壊という深刻な危機を呼び込むこととなります。

今、私たちの職場では現場の意見を集約して関係団体と一緒に政府に届ける準備をしています。ぜひ多くの声を集約して国に届けたいと考えています。

健康メモ 運動と健康

ちょっとした距離でも歩かないでクルマに乗っていませんか。近ごろはデスクワークが多くて体を動かしてないと感じていませんか。

家の中でも便利なものに囲まれています。リモコンひとつでテレビもビデオもエアコンもいろいろと操作できます。掃除や洗濯などの時にでも意識して体を動かさずしないと運動不足になってしまいます。

運動といっても大袈裟に考えなくても、毎日少し早足で歩き、エレベーターは使わずに階段を上がる、といったことでも十分です。

健康づくりのために意識して運動するにしても、ウォーキングや水泳といった適度な有酸素運動を無理しないで続けることが大切です。身体を動かすことでオーバークイとやそこから生じる循環器系の病気や糖尿病などの病気を防ぎましょう。



運動の目安

ウォーキングなら、少し早足で30分くらい歩くのが目安になります。体脂肪が燃え始めるには約20分かかりますから、少なくともそれ以上は続けることが必要です。

全国ブロック別推進研修会開催

家計支出の見直しで生活改善を！

テーマに県下7ブロックで開催

推進委員研修会はろうきんの現状や運動・推進課題について意思統一するとともに、各地区推進機構および会員相互の交流を通して活動の活性化を図ることを目的に毎年実施しています。

今年度は、県下7ブロックに分け、より地域密着した研修会として、7月25日から8月26日にかけて、会員の代表者および青年部・女性部代表の方々を対象に開催しました。

研修会では、組合員の生活応援運動である「しあわせ創造運動」(3つの柱①生活設計・生活改善・生活防衛)の一環として、県統一テーマに「家計支出の見直しで生活改



県統一テーマを提起する吉田業務推進課長



熱心に聞き入る豊肥ブロック推進委員の皆さん

善を！」と題して、ライフプラン設計の重要性を基本に、①多重債務の現状、②貸金業法の改正の主なポイント、③多重債務を解決する手続きや九州ろうきんセーフティネットワーク(弁護士・司法書士との協力体制を構築)、④ろうきんと労働組合の役割、等についてパワーポイントを活用した、問題提起(ブレゼンテーション)を行いました。

また、各地区推進委員会もブロック独自テーマとして、「日本経済と日本銀行の金融政策」(日銀大分支店長 鎌田沢一郎氏)、「悪質商法と相談事例」(県消費生活・アイネス 渡邊好氏)、「しあわせ

創造運動は職場から(九州労金講師団講師 稲尾聡文氏/県教組別府支店、九州労金NPO助成制度の助成団体「APU愛の波」(代表 松本裕未氏/立命館アジア太平洋大学)からの活動報告、「大分県内の多重債務対策」等、様々な研修・講演会が企画され、研修後の意見交換も活発に行われ、参加者からのアンケート結果も好評でした。



津久見・佐伯・臼杵ブロック研修会で講演している九州労金講師団講師/稲尾聡文氏

ブロック別推進研修会開催日	
ブロック(地区)	開催日時
三重・竹田	7月25日(金)
別府・国東	7月25日(金)
中津・宇高	8月 1日(金)
鶴崎・佐賀関	8月 1日(金)
佐伯・臼杵津久見	8月 5日(火)
大分・県庁	8月21日(木)
日田・玖珠	8月26日(火)

就任のご挨拶

九州労働金庫大分県本部
県本部長 棚村 和秀



2008年6月に行われた九州労金第7回通常総会で前南県本部長の後任として大分県本部長に就任いたしました棚村です。よろしくお願ひします。

さて、労金を取り巻く状況は、会員・間接構成員数の減少に加え、自由金利による他行との熾烈な競争など極めて厳しい現状にあります。この厳しい競争に勝ち残るためには、労金の原点を踏まえ会員皆様方との連携をこれまで以上に強化し、会員は勿論、構成員にも労金の意義をご理解いただくと共に、皆様から信頼され安心される労金にしていかなければならないと考えています。

このような情勢の中で、九州労金として競争に生き残る為、そして会員サービスにより充実させる為、6月の総会で、①日本労金構想、②九州管内の支店の統廃合という方向性が確認されました。

特に支店の統廃合については、09年10年にかけて現在94店舗ある支店を15店舗程度統廃合するというものであり、会員サービスに直接的な影響が懸念されるだけに会員から納得を得られる十分な対応が必要と考えています。

今後皆様と一緒に会員サービスの充実の為に、労金の充実強化を図っていく所存です。今後とも皆様方のご理解とご協力をお願いして挨拶とします。

ローンのことなら、ろうきんローンセンターにおおいたへ
お気軽にどうぞ!

ろうきん ローンセンターおおいた

営業時間
平日(月～金) AM10:00～PM7:00
AM10:00～PM5:00
土・日 祝日は閉店(但し、土・日の場合は営業致します)

TEL097-536-6366 FAX097-537-2591
〒870-0036 大分市寿町1番3号
九州労働金庫 大分支店 3階

※必ず事前にご予約ください。